



タイタニックと大雪といのちの授業プロジェクト

2008年をピークに、日本は人口減少時代を迎えました。2017年の年間出生数は、94万1000人でした。一方、2017年の年間死亡数は、134万4000人で、これから徐々に出生数は減り、死亡数は増えていきます。昨年は40万人の人口が減り、さらにこれから、年間あたりの人口減少は加速していきます。

人口減少時代を迎え、従来の社会保障制度では耐えられない事態が予想されます（事実上破綻する可能性が高いと案じます）。具体的には、社会保障費が高騰して財政的に健全ではなくなっていくことでしょう。病気などで困った時、119番にかければ病院に連れて行って助けてくれるとは限らなくなります。高齢者が増える一方で受け皿の急性期病院のベッド数は減っていくからです。介護の担い手の高齢化も懸念されています。なぜ、これほどの大きな社会課題がやってくるのに、話題になりにくいのでしょうか？

人口減少時代で社会保障制度が破綻していくことをイメージするならば、タイタニックが沈没して、氷の海で助けを求めている人があふれているのに、助けることができるボート（人材）が圧倒的に足りない状況と似ています。

もう1つのイメージは、関東で大雪が降った朝の光景です。行政から声がかからずとも、多くの人が早起して家の前の道路の雪かきをはじめます。雪かきしなければ、道を通る人や車が困るからです。大雪の特徴は、皆が共通して地域の苦しみが見えることと、雪かきはみんなができることです。

ところが、人口減少時代で社会保障制度が破綻していく課題のやっかいなことは、大雪と違って目に見えにくいことです。

85歳のお母さんと50代の娘さんが2人で暮らしています。認知症になったお母さんの介護をしながらフルタイムで働いて、仕事を辞めようかと悩んでいます。その苦しみを地域の人は知りません。なかなか地域では見えにくいことでしょう。

1つの課題は、たとえ地域で苦しみを抱えた人が増えていったとしても大雪と違って見えにくいことです。もう1つ、問題を複雑にしていることは、もし見えたとしても、雪かきと違ってどのように関わって良いかわからないことが多いということです。家族に迷惑をかけるくらいならば、いっそのこと早く逝きたいと訴える人に、どのような関わり方ができるのか、医療者ですら苦手意識を持つ人が多いのが現実です。どれほど最善を尽くしても、高齢になれば、やがて歩けなくなり、いつかはお迎えが来ます。この苦しみと誠実に向き合い、関わる人が地域にどれほどいるのでしょうか。困った時に119番に電話すれば病院でなんとかしてくれる時代ではないにも関わらず、これからこのような苦しみを抱えた人が、地域にあふれていく時代がやってきます。

この状況に対して、何か有効な手立てはあるのでしょうか？

まずは、苦しみに気づく人を増やしていくこと、そして、たとえ解決が困難な苦しみを抱えたとしても、誠実に援助できる人が地域で増えていくことを夢見しています。

一部の医療・介護のエキスパートだけではなく、このテーマに関心を寄せる多くの人に伝えるために、いのちの授業プロジェクトを開始しています。苦しんでいる人は、自分の苦しみをわかってくれる人がいると嬉しいということ、苦しみは決して負の要素だけではないこと、苦しみを通して様々な支えに気づく時、生きようとする力があることなど、ホスピスで学んで来た援助のエッセンスをいのちの授業として形にしていきたいと思えます。現在、プロジェクトメンバーがプロトタイプを鋭意作成して、多くの人々が利用できる形のコンテンツを準備しています。最終的には、各地でオープンプラットフォームとして利用できることを通して、人口減少の厳しい時代を迎えるなかで、持続可能なまちづくりを目指したいと思えます。

道のりは長く、険しく、曲がりくねっていて、困難も多く、心が折れそうにもなりますが、日本のどこかで私を待っている人がいると信じて、走り続けたいと思えます。

小澤竹俊

年間在宅看取り 300人

6月末は、在宅療養支援診療所の1年間の実績をまとめる時期です。昨年の7月1日から今年の6月末までに診療した実績を報告する義務があります。この1年間、在宅（自宅と介護施設）で亡くなった人は300人、病院で亡くなった人は120人、あわせると420人の患者さんとお別れをしたこととなります。これからも地域で苦しむ人のために誠実に援助にあたりたいと思えます。

診療実績

	2006- 2017年	2018年 1-3月	2018年 4月	2018年 5月	2018年 6月	2018年 計	総計
訪問回数	60,113	1,671	841	880	946	4,338	64,451
自宅永眠	1,985	54	18	19	19	110	2,095
施設永眠	281	9	6	4	7	26	307
在宅 (自宅+施設)	2,266	63	24	23	26	136	2,402
病院永眠	594	23	11	13	11	58	652